**Ｈ３０（　02神田　）放課後子ども教室の活動報告**

|  |  |
| --- | --- |
| 平成３０年度の○成果と●課題 | 平成３１年度に向けた方策 |
| １　子どもたちの育ちの状況  ○サポーターの方との関りが多く継続されているため、サポーターの方への挨拶や態度が以前より良くなってきている。最近、終了時に「ありがとうございます」といえるようになってきている。  ○子どもたちに様々な遊びを通して工夫しながら挑戦する気構えが感じられるようになった。  ●自分の意志での参加というより、仲間との関係で参加している子が多い。子ども同士の人間関係を抑えていく必要を感じる。  ●できないことにチャレンジする気持ちが少ない。 | →関わりの継続と礼儀の励行の推進  →学校、児童館職員との情報交換の場の設定。  →チャレンジできる遊びの工夫、開発に努める。 |
| ２　活動の内容・仕方・講師の声  ○定期的に関係者との打合せ会を行い、３か月の予定を立てながら、サポーターの確保に努めている。  ○学年が上がるにつれ、確実に技術が上がっている。作る楽しさが見られ、上の学年が下の学年の子を手伝う姿も見られるようになっている。  ○各教室への参加児童も多くなり、作品の作成に対して興味をもって工夫している様子がうかがわれる。  ●サポーター、ボランティアとも高齢化が進み、新しい発想での活動内容の開発がなかなか難しい。 | →打合せ会の継続と、講師の発掘に努めたい。  →さらなる興味が持てるよう、６か月、１年といった継続性を持たせた教室を実施したい。  →若い人材の確保と、発想の転換を図った計画。 |
| ３　関係機関との連携   1. 地域   ○ボランティアの方が、子どもが楽しむ活動を工夫しながら行ってくださっている。  ○町の先生に教室をお願いし、盛り上げてもらっている。   1. 児童館・児童クラブ   ○所属している子どもに対して厚生員から参加の呼びかけをしてもらうことで、子どもへの参加意識を高めてきた。  ○児童館行事の終了時間が遅くなる時は、終了後に児童館で一般児童を預かり、保護者に迎えに来ていただいた。  ○クラブ実施の行事と競合しないよう話し合いながら実施している。   1. 学校   ○定期的な打ち合わせには、学校の教頭からも参加してもらい、学校行事とのすり合わせをしている。   1. その他の期間 | →子供が楽しみにしていてありがたい。しかしながら、ボランティアの方の高齢化と、次につながる人材の確保を考えなければならない。  →町の先生の活用と、継続。  →双方の予定のすり合わせで、負担のないような計画ができるので継続して実施していく。  →双方が無理のかからないよう、連携を図っていく。 |
| ４　その他  ○国際交流センターの方々や留学生の方々に支えてもらっている。  ●子ども同士の人間関係が、事業に参加するかどうかにかかわってくることが多い。 | →継続的な交流の実施を図っていく。  →学校との一層の連携が図れるようにしていきたい。 |

来年度に向けた方策等

　※子供たちが「やりたい！」といった行事を計画したいなと思っている。